

西日本豪雨3年

生業と生活の再建へ

倉敷市真備、総社市
現地調査

被災者に寄り添う



災害碑に献花

西日本豪雨災害から3年前に7月4日、大平よしのぶ前衆院議員は倉敷市真備町で開かれた「メモリアルのつどい」に参加し、災害公営住宅や復旧工事などを調査。被災者の生業（なりわい）と生活再建へ——「住民に寄り添い政治の転換を」の決意をあらたにしました。

「つどい」は、日本共産党と岡山県災害対策連絡会が共同で運営する被災者支援センターの主催。大平氏は仁比聡平前参院議員、すみより聡美衆院比例予定候補、県議、倉

敷市議らと参加し、「命が大切にされる政治へ転換し、被災者の代弁者として頑張り抜く」とあいさつしました。（写真上）

生活再建支援制度・加算支援金の申請延長（来年8月まで）や陸開の解消工事など住民と党の運動で勝ち取った成果も報告されました。

前衆議院議員（比例中国・名簿登載予定者）
大平よしのぶ
喜信のぶ
日本共産党

おおひら・よしのぶ
【略歴】1978年広島市出身。広島市立舟入高等学校卒、広島大学学校教育学部卒。日本民主青年同盟広島県委員長など歴任。2014年12月の総選挙で初当選。衆議院議員1期（文部科学委員、災害対策特別委員、憲法審査会委員）、議席奪還を期す。現在、党中央委員。広島県府中町在住。家族は妻と一子。

島根原発の再稼働ゆるすな ネット番組

大平前衆院議員は6月28日のネット番組で、島根原発再稼働問題を取り上げました。

ゲストの尾村利成島根県議は、原子力規制委員会が再稼働にむけ事実上の合格を出すなか、「なぜ島根原発2号機の再稼働が許されないのか」について①県民世論の多数が原発再稼働に反対してい

る②新規制基準は福島事故の教訓をふまえていない③使用済み核燃料の処理方法は確立されていない④巨大地震の可能性が否定できない⑤実効ある避難計画は未策定⑥不正・不祥事繰り返す中電に原発動かす資格なし——の6点を指摘しました。（写真）



公式SNS
スマホで
チェック♪



写真家・堂畝さんと懇談 広島市で被災

大平氏は5日、広島市在住の写真家・堂畝紘子さんと懇談しました。堂畝さんは、日本共産党月刊誌『前衛』7月号巻頭に「椰子と生きる——西日本豪雨被災者の視点から」との写真を提供・掲載しています。被災当時と3年たった今の暮らしぶり、必要だと感じた支援などを伺いました。

都議選勝利へ SNS発信で奮闘

4日投開票の東京都議選で日本共産党は、前回同様に19議席を確保し勝利しました。大平氏は、街頭宣伝やSNS発信で奮闘しました。

制度解説 衆院 比例代表は「日本共産党」と 候補者名は無効です 政党名を書きます

大平喜信 前衆議院議員
いきいきニュース

2021年7月18日 No.29

発行 〒703-8288 岡山市中区赤坂本町1-31 日本共産党国会議員団中国ブロック事務所
日本共産党の大平よしのぶ前衆議院議員の活動と同党の見解を紹介します。